



# 患者の手から感じる思いに触れて

〈東京都〉品澤 しなざわ 一寿 かずとし 39歳

私は手術をするAさんに手術時の説明をしに行った。説明後、Aさんに「よろしくお願いします」と握手をされた。私はこの時、Aさんの握り返してくる手の中から、不安の表れを感じ取った。私はAさんに「Aさんの手の力、強いですね」と話し、Aさんは「私、工場で働いていたから、手の力が強い

のよ。でも目が覚めるか不安だわ。手を握り返せばいいのね」と私の目を見てほほ笑みながら話してくれた。

手術当日、麻酔が導入される前に私が「手術が終わったら、手を握り返してくださいね」と伝えると、Aさんはうなずき手を強く握り返してくれた。手術は順調に経過したが、麻酔覚醒時に急変し脳内出血を合併したため、気管チューブを挿管したまま帰室することになった。私はAさんの手の感触

がずっと残ったまま、無事に容体が回復することを願った。しかし、夜間に出血量が増え、止血術と外減圧術が行われた。私は、翌日その出来事を聞き、無事でいてくれと思った。

2カ月後に状態が改善し、頭蓋骨を形成する手術が決定した。私はうれしく思い、Aさんの手術に着きたいと申し出た。術前訪問時に再度手を握ると、Aさんは力強く手を握り返してくれた。私はこの時、一人の人間としてAさんのことを思い、うれしくて涙を流した。

病棟のストレッチャーから手術室のベッドに移るときに、Aさんは不安そうな表情を浮かべ、私に手を差し出した。私は、Aさんに「大丈夫ですよ」と声を掛け、手を握り返した。Aさんに「手術が終わったら手を握り返して

くださいね」と伝えると、うなずき再度手を強く握り返してきてくれた。私は手を握り、今度は必ず起こすから大丈夫ですよと気持ちを込めて手を握った。その時、一瞬だがAさんの表情が緩んだように思えた。

無事に手術が終了し、私がAさんに「無事終わりましたよ」と話すと、Aさんは力強く手を握り返し「うん、うん」と力強くうなずいてくれた。私はこの時、Aさんとの約束が果たせたと思い安堵した。